



日本赤十字社医療センター 情報誌  
Japanese Red Cross Medical Center

# TeaTime

vol. 86

2023  
Autumn

無料配布

## 特集 ①

2023年度オープンホスピタル開催のお知らせ！  
地域とつながる、ハートフルな一日を共有しよう！



## 特集 ②

関東大震災から100年 震災から何を学びどう備えるか

専門看護師・認定看護師の知恵袋

感染症の基礎知識を身につけて  
感染対策をしよう

感染管理認定看護師 大久保 佳代

Topics 世界でも活躍する日赤医療センター職員  
トルコ・シリア地震での巡回診療支援

スマイルレシピ

きのこの生姜醤油あえ

栄養課 松原 抄苗

# 地域とつながる、 ハートフルな一日を共有しよう！

2016年に病院創立130周年記念イベントとしてスタートし、これまでに4回開催されてきた「日本赤十字社医療センター オープンホスピタル」。コロナ禍による影響を受け、一時は開催を自粛していましたが、2023年は「これからも地域とつながる。51年目の日赤医療センター」をキャッチコピーに再び開催することになりました！ また、今回はお隣のレクロス広尾との共催となります。



## ＜開催概要＞

日 時：2023年10月15日（日） 10時～15時

場 所：日本赤十字社医療センター および  
レクロス広尾（日本赤十字社総合福祉センター）

## ＜オープンホスピタルの目的＞

このイベントは、地域の住民や関連する医療関係者に日本赤十字社医療センターの活動を知っていただき、連携を強化することを目的としています。

楽しい企画が  
盛りだくさん！

- ひびきあうハートTokyo2023 プロジェクトワークショップ
- 中島院長ピアノコンサート
- その他様々なイベントやアクティビティがお楽しみいただけます。

※イベントの内容やスケジュールは変更になる場合があります。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。

日本赤十字社医療センターの職員と一緒に、  
素晴らしい一日を過ごしましょう！  
皆さまのご参加をお待ちしております。

国際医療  
救援コーナー



海外への国際医療救援のために  
持っていく医療セットと初動携帯用  
バッグを展示しています。



ハートちゃん  
みんなに会いに来るよ！

国際活動写真  
の展示



当センターでは、世界中で困っている人々を助けるための活動をしています。海外に派遣された職員とお話できます。



## 院内見学



外科医のようにガウンを着て、手術器具を実際に触れることができます。

普段なかなか入ることのできない手術室です。手術室の雰囲気を感じてください。スタッフがお待ちしています。



内視鏡室見学では、胃カメラ・大腸カメラの動きを間近で見ることができます。



災害時の活動に欠かせない救護車両に乗って写真を撮れます。

## 中島院長 ピアノ コンサート



ヤマハのピアノ講師の資格をもち、『題名のない音楽会』に出演したこともある中島院長が、大人も子供も楽しめる曲を奏でます！



## 救護体験

100年前の関東大震災の時も救護活動を行った「日赤救護班」！大人も子供も救護服を着て「日赤救護班」気分を体験できます。



ガラスにお絵かき!! 大きなガラスに思いっきり描いてみませんか。



## まちの保健室

身体測定や運動療法、乳がんのセルフチェックに役立つ触診モデルを使用した体験コーナー。



皆さまと素敵なひとときを共有できることを楽しみにしています！



特集②

# 関東大震災から100年 震災から何を学びどう備えるか



石巻赤十字病院内



写真：国立映画アーカイブ所蔵  
負傷者を運ぶ看護師  
※当時は「看護婦」

1923年9月1日午前11時58分に起きた関東大震災では、死者・行方不明者数は約10万5000人にも上り、地震と火災によって建物だけでなく、電気・水道・道路などのインフラにも甚大な被害が発生しました。

今年は、その関東大震災からちょうど100年を迎えます。

当時の状況がどのようなものだったのか、そして今後起こり得る首都直下地震に対して日赤医療センターはどのように備えているのか。国内医療救護部長の丸山嘉一医師にお話を伺いました。

—— 関東大震災が起きたとき、日本赤十字社医療センター（当時…日本赤十字社病院）ではどのような活動を行っていたのでしょうか。

丸山…関東大震災は午前11時58分に発生しましたが、その日の夕方には皇居前広場に100坪を超える救護用テントを設置し、傷病者の手当を始めました。水道、電気、ガスが止まり、余震が続く中、救護所テントの明かりを目標指して、けがをした人たちが殺到したそうです。

また、多くの病院や診療所が地震

100年前にも行われていた  
トリアージと感染症対策



国内医療救護部長 丸山嘉一 Yoshikazu Maruyama

または火災によって機能しなくなったため、町には治療を受けられない人があふれていました。そこで、専用のバスを使って地域を周回し、治療を必要とする人々を乗せて救護所に搬送するというのもしていました。国立映画アーカイブが所蔵する記録映像の中に、「日本赤十字社病院用」と書かれたバスが病院の正面玄関前に到着し、患者さんが降りてくる場面があります。歩けない人を職員が肩を担いだり、担架に乗せたりもしています。

患者収容班の出動は64回にもおよびました。他にも、各方面から患者さんが集まり、急造した仮病舎にも患者さんがあふれ、職員は不眠不休の救護活動を続けました。このときの収容患者は、延べ5万4900人あまりに上りました。

日本赤十字社の本社は港区芝大門にあり、地震による倒壊はなかったのですが、その日の夜になって周囲からの火災に巻き込まれて全焼しました。本社を失った後は、渋谷区広尾にある今の当センターに仮事務所を設置して活動を続けました。ここは高台で地盤も硬く、一部建物の損壊はありません

が、被災者を受け入れて治療を行っていました。当時の病院の敷地は、今の渋谷広尾四郵便局から周辺マンションまでとかなり広く、そこで患者さんの対応にあたっていたそうです。

記録映像の中には、職員がメモを

とって、それを傷病者に渡すシーンがあります。これは何をしているのでしょうか。

丸山…その人の名前や生年月日、けがの程度を聞き取ってメモをしていたのだと思います。メモの内容をもとに、



診療の様子(皇居前救護所)  
※本誌発行者側で画像の一部を加工しています。



日本赤十字社病院正門

負傷者を乗せて到着した  
当院専用の搬送車両



下記写真4点：国立映画アーカイブ所蔵



皇居前救護所における日赤救護車両

この人は重症だから人手を集めて今すぐ処置を施さなければならない、この人は軽症で命に別条がないから緊急の治療は必要ない、という優先度をつけていたのでしょう。これは現代のトリアージに通じるものです。トリアージとは、大規模な災害や事故が起きたとき、傷病者の重症度と危険度に応じて4段階のトリアージ・タッグで優先度を分類することです。

もし今、震災が起きたとしたら、当センターでも入口でトリアージをして患者さんの優先度を決めることになります。今と変わらないことを百年前にも行っていたことに、映像を見て私も驚きました。

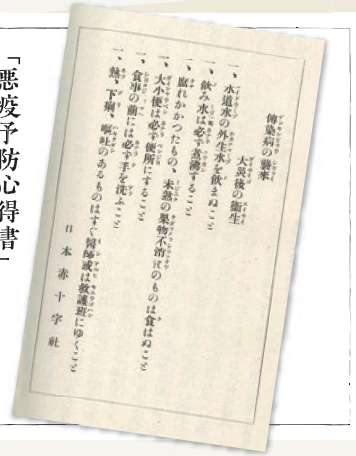
被災者を受け入れた後、救護所や病院ではどのような問題があったのでしょうか。

丸山…被災者が大量に押し寄せ、衛生状態が悪化すると、感染症のリスクが高まります。日赤救護班は感染症拡大の兆しを察し、いち早く感染症の予防と早期発見に努めました。救護所には隔離室用のテントを設置し、感染症患者を受け入れるために病院でも病床数を増やしました。また、人々への注意

1923



喚起として、「悪疫予防心得書」として6カ条を書いたビラを30万枚配布しました。当時は赤痢や腸チフスといった消化器感染症の対策がメインでしたが、現在は消化器感染症に加えて新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなど呼吸器感染症の対策も必要になるでしょう。



### 「悪疫予防心得書」

伝染病の襲来 大災後の衛生

- 一、水道水のほか生水を飲まぬこと
- 一、飲み水は必ず煮沸すること
- 一、腐れかかったもの、未熟の果物、不消化のものは食わぬこと
- 一、大小便は必ず便所にすること
- 一、食事の前には必ず手を洗うこと
- 一、熱、下痢、嘔吐のあるものはすぐ医師あるいは救護班にゆくこと

### 【引用元】

日本赤十字社編『大正二年  
関東大震災日本赤十字社救護誌』  
日本赤十字社発行 1924（大正14）年

## 東日本大震災と 熊本地震で学んだ教訓

——最近ではどのような自然災害に關わってききましたか。

**丸山**…さまざまな地震や豪雨災害に対して、外部支援者として現地にチームを派遣しました。その中でも大きな出来事としては、やはり2011年の東日本大震災があります。当センターでは、地震発生から約1時間後には国からの要請を受けて災害派遣医療チーム（DMAT）が福島県に向かって出発しました。さらにその1時間後には、国内型緊急対応ユニット（dERU）が派遣されました。

——dERUとは何でしょうか。

**丸山**…dERUは、仮設診療所設備とそれを運ぶ車両と訓練された救護員、そしてそれらを円滑に運用するためのシステムのことです。私もdERUの一員だったので、車に乗って東北地方に向かいました。都内の一般道路は渋滞していましたが、高速道路は緊急車両のみ通行を許されていたので、車がまったく走っていない高速道路を東北



出発準備中の救護班（救護倉庫前）

石巻赤十字病院内

地方に向かって車を走らせていました。こんな経験は初めてでしたね。私たちが向かったのは宮城県にある石巻赤十字病院で、到着したのは翌日の午前4時ごろでした。津波の水が引いていくにつれて病院には患者さんが



石巻赤十字病院内



医療センターの救護所テント（石巻赤十字病院前）

多く押し寄せ、ロビーや廊下は人々であふれかえっていました。

——**病院内は混乱していたのでしょうか。**

**丸山**…石巻赤十字病院では地震発生から1週間ほど前に防災訓練を行って

て、災害対策マニュアルも準備してあったため、病院のスタッフ内で大きな混乱はありませんでした。ただ、私たちとしては、もし首都直下地震が起きたら同じような状況になるのだろうと思い、改めてハードとソフトの両方の整備を充実させなければならぬと強く実感するきっかけになりました。

もう一つ、災害対応として印象に残っていることは、2016年に起きた熊本地震です。当センターから救護班を派遣し、熊本赤十字病院で支援活動にあたりました。熊本赤十字病院ではガラスが割れたり、一部の天井が落ちていたり、建物の被害もありました。新設された救命センターが停電してしまい、その対応にも追われました。さらに深刻な水不足にも悩まされました。もし水の供給があと半日なかったら、病院を閉めないといけないというところまで追い込まれていました。

電気や水は病院の機能に直結し、患者さんの命に関わるので、こうしたインフラの確保も重要な課題であると突きつけられました。

## 電気と水を確保して 薬と食料も備蓄

——東日本大震災や熊本地震の教訓を、センターではどのように生かしていますか。

丸山…まずは当センターの建物自体についてです。この土地は洪水の影響を受けにくい高台にあります。そして地下には積層ゴムや油圧ダンパーなど200台以上の免震装置が設置されていて、建物に地震の揺れが伝わりにくくなっています。実は、タクシー乗り場

にある段差も免震構造の一部になっています。

病院に必要なものが電気です。電気は2系統から引いていて、1つが断たれても停電しないようになっています。もし両方の系統が途絶えても、都市ガスで発電できるガスコージェネレーションシステムを用意しています。ガスも来なくなった場合に備えて、灯油で発電する非常電源を準備しています。灯油は地下の燃料タンクに備蓄されており、約3日分の電力をまかなうことができます。

次に大切なインフラが、水です。病院では、クーラーや蒸気滅菌、冷却水、透析などで大量の水を使用します。緊急時でも1日あたり最低100トンが必要です。そこで、上水道については、地下30メートルから水をくみ上げ、プラントでろ過して貯水槽に移しています。下水についても、2週間くらいは使い続けられるタンクがあります。

通信手段の確保も重要です。複数の固定電話回線と災害時の優先携帯電話を用意しており、もし電話が使えないときには、自治体の防災無線や、法

律をもとに国から専用割り当てられている赤十字専用無線を使います。衛星電話も5系統契約しています。もちろん、院内専用のPHSやトランシーバーも整備しており、日頃から使っています。平時から使い慣れているので、いざ緊急時となったときに操作に戸惑ったり、必要なものがなかったりするというトラブルを防ぐことができます。新型コロナウイルス感染症が流行したときは、こうした情報機器をフル活用しました。

——薬や食料品の備蓄についてはいかがでしょうか。

丸山…内服薬については、薬剤部で備蓄管理を行っています。点滴も、外部から運ぼうとするとかなりの重量になってしまいうので、院内で備蓄しています。食料も、患者さん向けに3日分を確保しています。

——地震が起きたら、センターとしての体制はどのようなものになるのでしょうか。

丸山…3階にある講堂に、院長を本部長とした災害対策本部が設置されます。ここを拠点として情報を収集し、院内スタッフへ指示を出します。外来



防災井戸 ※現在は建屋内に収容





災害医療シミュレーション研修の様子。次々と入ってくる情報についてメモをとりながら対応



電話による情報発信と情報収集。後ろではホワイトボードも活用



屋上で行った衛星通信の研修



新 dERU

に來られている患者さんをどうするか、これから入院や手術の予定が入っている患者さんをどうするのか、センター全体として意思決定を矢継ぎ早に行います。この災害対策本部がどのようなものなのか院内スタッフに体験してもらうため、今年になって初めて災害医療シミュレーション研修をセンター内で行いました。研修を通じて、実際に災害が起きたときにそれぞれの部署で何をすべきか、今から何を準備すべきかが実感できたかと思っています。

—— 私たち一人一人が災害対策としてできることには何があるのでしょうか。

### お薬手帳のコピーを いつも持ち歩いて

当センターの職員には、まず安否確認システムで各自の状況を把握し、センターに來られるかどうかの確認をします。事業継続計画（BCP）や災害対策マニュアルをもとに対応を進めることとなります。

**丸山**…生活に必要なものをまとめておくことです。特に、水と食料は必須です。簡易トイレやモバイルバッテリー、スマートフォンなどの通信手段も確保してください。マスクや消毒用アルコールなど、感染症対策グッズの準備も必要です。ペットがいる場合には、ペットも大切な家族ですので、フードなども用意しましょう。

常備薬も、できれば持参したいところですが、実際には難しい場合もあると思います。今は、お薬手帳があれば緊急時に必要な薬を処方できるようになっています。お薬手帳のコピーでもいいので、常に持ち歩いてほしいと思います。最近では「モバイルファーマシー」という、キャンピングカーを改造して薬局の機能をもたせた車があり、被災地に移動して薬を供給できるようになっています。

—— もし、けがをしてしまったときにはどうすればよいでしょうか。

**丸山**…擦り傷や切り傷の応急処置としては、まず傷口を水で洗い流してください。このとき消毒液は不要です。出血がある場合には圧迫止血をします。出血が激しいときに備えて、消防隊や

自衛隊が使っているターニケットという止血帯を用意しておくことも勧められています。通販などで買うことができます。応急処置をしたら、人を呼んで助けを求めてください。

長時間にわたり倒壊した建物などに挟まっている人がいたら、自力で助けることはせずに救助隊を呼んでください。体が長時間圧迫されると、圧迫されたところに毒素が溜まり、救出によつて圧迫がなくなると毒素が全身に回つてクラッシュ症候群を引き起こし、最悪の場合死に至る可能性があるからです。

—— 治療が必要な場合には、どこに行けばいいのでしょうか。

**丸山**…東京都では、災害時に緊急医療救護所が開設されることになります。緊急医療救護所では軽症者の治療を行い、中等症者や重症者は他の病院に搬送します。当センターも緊急医療救護所の設置場所に指定されています。自宅や通勤先の会社など、普段生活しているところの避難所や緊急医療救護所が開設される場所を調べておくと、災害時に慌てることなく行動できると思います。

——



専門看護師

認定看護師

# の 知恵袋 26



感染管理認定看護師 大久保 佳代  
Kayo Okubo

日本赤十字社医療センターには、日本看護協会が認定している専門看護師20人、認定看護師28人がおり(2023年6月現在)、それぞれの分野に特化した看護ケアを患者さんに提供しています。本連載は、私たち「専門看護師」「認定看護師」を皆さんによりいっそう知っていただくため、耳寄りな情報をリレー形式でお伝えします。

## 感染症の基礎知識を身につけて感染対策をしよう

どのようにして  
感染症が起きるのか？

感染症とは、病原体が体に侵入して症状が出る病気のことをいいます。感染は「感染源」「感受性宿主」「感染経路」の3つがそろったときに成り立ちます。「感染源」とは病原体のことで、「感受性宿主」とは感染を受ける可能性がある人、「感染経路」は病原体が宿主に伝播するまでの経路をいいます。3つのうち、どれか1つを遮断すれば感染は成立しません。一番効果的なものは3つ目の「感染経路」です。

### 感染経路の種類と予防策

感染経路には、接触感染、飛沫感染、空気感染の3つがあります。「接触感染」とは人や器具の接触により感染することであり、ノロウイルス感染症などのウイルス性腸炎、ヒゼンダニによる疥癬(かいせん)などが挙げられます。「飛沫感染」とは、咳やくしゃみなどの唾液などに含まれる細菌やウイルスが口や鼻の粘膜に触れて感染することであり、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などがあります。「空気感染」とは、咳やくしゃみで飛んだ飛沫の水分が蒸発した後、病原体のみが長時間空気中を漂い、その空気を吸い込むことで感染が成立します。空気感染には、結核、麻疹、水痘などがあります。

感染成立を予防する基本的な方法には、手指衛生(アルコール擦式消毒や流水での手洗い)の実施と、手袋やガウンなどの防護具を選択的に使用することがあります。さらに、病原体がわかった(あるいは疑った)場合に、個室管理などの病室の選択なども加えていきます。

### 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行

2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は、感染症法上2類相当から5類に分類されました。これに伴い、基本的感染対策について、政府からの対応を一律に求められることがなくなりました。このため、感染対策は、感染対策上の必要性に加え、経済的・社会的合理性や、持続可能性の観点も考慮して実施することとなりました。このうち、感染対策上の必要性として重要となるのが「飛沫感染」対策です。当センターは、赤ちゃんや妊婦さん、そしてご高齢の方、基礎疾患のある方が集まるハイリスク施設に該当し



ますので、「飛沫感染」対策として、マスクの着用(5歳以下を除く)をお願いしております(2023年8月現在)。手指衛生(アルコール擦式消毒や流水での手洗い)の実施とともにご協力をよろしくお願い申し上げます。

### さまざまな感染症対策に取り組む

ここ3年間は新型コロナウイルス感染症が注目をされてきましたが、感染症にはさまざまなものがあります。皆様が安心して通院できるように、引き続き感染対策に取り組んでいきます。

感染管理  
認定看護師

感染対策における専門知識や実践力をもち、医療関連感染サーベイランスの実践、施設の状況の評価、感染予防・管理システムの構築などを行います。

#### ●専門看護師(CNS: Certified Nursing Specialist)

患者・家族に起きている問題を相対的に捉えて判断する力と広い視野を持ち、分野ごとの専門性を発揮しながら、施設全体や地域の看護の質の向上に努める。

#### ●認定看護師(CN: Certified Nurse)

患者・家族により良い看護を提供できるよう、分野ごとの専門性を発揮しながら看護の質の向上に努める。

## 『世界でも活躍する日赤医療センター職員』

日本赤十字社は、海外における紛争の犠牲者や災害の被災者の救援を行う国際救援活動、開発途上国の保健衛生状態の改善などを行う開発協力事業などの人道的活動を行っています。当センターの職員も派遣されており、世界の人々の苦痛の軽減に取り組んでいます。今回は、薬剤師／メディカル・ロジスティクスとして活動した3カ月間の様子を紹介します。



### 薬剤師として医薬品の適切な情報提供を



### トルコ・シリア地震での巡回診療支援

薬剤部・国際医療救援部 小林 映子

2023年2月6日に発生したマグニチュード7.8の「トルコ・シリア地震」は、国境付近を中心に犠牲者数6万人におよぶ甚大な被害を及ぼしました。

国際赤十字・赤新月社連盟は、被災しながらも奮闘を続けるシリア赤新月社の巡回診療チームの増強と緊急対応能力の強化を目的として、巡回診療型 ERU(緊急対応ユニット)を展開すべく、発災から約1カ月後に国際要員を派遣。6カ国の赤十字社が協力して①人材、②巡回診療車両、③医薬品・医療資機材などを提供しました。

日赤は多くの薬剤師を派遣してきた実績から医薬品と医療資機材を担当し、私は「薬剤師／メディカル・ロジスティクス(医療物資の供給調整管理)担当者」として、フィンランド、カナダ、ドイツの要員らと同じチームで活動しました。

活動地のシリア北西部にあるラタキアでは、他の地域からの避難者が急増し、医療対応が追いつかない状況でした。特に基礎保健や慢性疾患薬のニーズが高く、薬の空き箱を握りしめて列をつくる被災者が後を絶たず、対応する巡回診療チームにも薬剤師の姿はなく、医師や看護師に限られた医薬品の提供に追われていました。そこで私たちのチームでは、巡回診療の薬局ブースに現地の薬剤師を配置し、医師と看護師は診療や処置などの患者ケアに専念できる構成としました。さらに新規雇用の現地スタッフ25名に対して、シミュレーションエクササイズなどによる人材育成とチームビルディングを支援しました。

当初、医薬品の副作用を患者さんに伝えることに抵抗を示していた現地スタッフも、現地の薬剤師が巡回診療チームに帯同し、患者さんと対面してアラビア語で情報提供することで安心感も提供できると共感してくれました。多職種からの相談に応える姿や限られた選択肢からより適切な医薬品を提案できる薬剤師の姿に理解を示してくれました。多忙かつ安全管理が大切な巡回診療での薬局運営を、運転手も含めたチーム皆で協働する体制ができました。

活気と温かい笑顔に囲まれながらも、10年を超える紛争下に追い打ちをかけた震災による心の傷は癒えず、まだまだ先の見えない不安と希望に葛藤する若いスタッフの瞳に見送られ、3カ月間の活動を終えました。私たちのチームがまた小さな種がこれからもよりよい保健医療の提供を目指し、被災者の健康維持と不安の軽減に貢献していく若い力の心の土壌に根付くことを願っています。



がれきの中から被災者を救助する赤新月スタッフ



シリア赤巡回診療車両の中で、現地看護師と医薬品の準備を進める日赤薬剤師



シリアERU薬局倉庫で医薬品管理をする日赤薬剤師



新規現地スタッフの研修の様子





# 「きのこの生姜醤油あえ」

当センターの栄養課の職員がおすすめする体にも心にも優しい、食べたら思わず笑顔になってしまうようなレシピを紹介するスマイルレシピ！今回は松原抄苗管理栄養士が紹介する「きのこの生姜醤油あえ」です。

## 材料(1人分)

- きのこ  
お好みのものを合わせて…約80g
- カットわかめ…………… 1g
- だしわり醤油…………… 小さじ1/2  
(普通の醤油でも可)
- おろし生姜…………… 小さじ1/2



## 作り方

- ① きのこを食べやすい大きさに切る。
- ② カットわかめを水で戻す。
- ③ 鍋にお湯をわかし、沸騰したら①を入れて、1～2分ゆでる。ゆで終わったら、ざるにあげて冷ます。
- ④ ボウルなどに、②と③と調味料を入れて和え、お皿に盛り付ける。



食物繊維と  
ビタミンDを  
たっぷり摂取しよう！

## 栄養成分

エネルギー	……28kcal
たんぱく質	……… 2.7g
脂質	……… 0.4g
炭水化物	……… 6.0g
食塩	……… 0.4g
食物繊維	……… 4.0g

※使用するきのこによって変わります。今回は、しめじ、エリンギ、えのきに計算。

## 使用する材料の効果

きのこはスーパーでは一年中見かける食材ですが、低エネルギーで食物繊維が豊富なので、「食欲の秋」で食べ過ぎてしまうというときにぴったりの1品です。また、食物繊維の1つであるβグルカンが含まれており、免疫機能を活性化させると言われています。さらに、ビタミンDが多く含まれ、腸でのカルシウムの吸収を促進するため、骨粗鬆症予防のためにカルシウムと一緒に摂ると効果的です。逆にエネルギーをとりたいた方は、ゆでるのではなく油で炒めたり、たんぱく質源として油揚げなどを加えたりすると栄養量UPにつながります。



栄養課  
**松原 抄苗**  
Sanae Matsubara

※食事療法を行っている方は、医師や栄養士にご相談ください。

## たくさんのご寄付や応援をいただきありがとうございます。

日本赤十字社医療センターへご寄付いただき、誠にありがとうございました。

皆さまからの貴重なご寄付は、新型コロナウイルス感染症への対応にかかる費用、医療機器・材料の購入費を含めた「病院事業運営資金」として大切に使用させていただきます。

ご芳志への感謝の気持ちを込め、ご芳名を紹介させていただきます。なお、許可をいただいた個人、法人および団体名のみを掲載しています。

六二の会 さま  
安田 泰司 さま  
鈴木 慶子 さま

武藤 裕治 さま  
株式会社中部プラントサービス さま  
MSP株式会社 さま

※順不同

## いつも貴重なご意見をありがとうございます

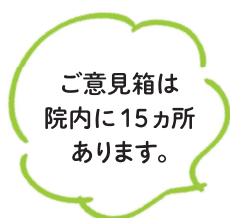
ご来院の皆さまこんにちは、ご意見箱です。

新型コロナウイルス感染症拡大の際は、当センターでの感染対策にご協力いただき誠にありがとうございました。その期間、皆様から食事スペースの不足やレストラン再開を望む声を多くいただきました。

皆様のご意見を踏まえ、以前のレストランススペースを午前8時から午後3時まで食事スペースとして開放しております。検査などで朝食を抜いて来院された方や、昼食をとりたい時、または少し休憩をとりたい時などにご利用いただけます。

何か困りごとやご不便がございましたら、お気軽に総合案内や当センターの職員までお知らせください。

最後に、すべての方に当センターを安心してご利用いただくため、院内でのマスクの着用をお願い申し上げます。皆様のご協力に心から感謝いたします。



外来 6カ所、  
入院病棟各フロア 1カ所



皆さまのご意見を  
病院内の環境改善に  
役立ててまいります!

日本赤十字キャラクター  
『ハートラちゃん』

## &gt;&gt;&gt; 診察のご案内

月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	○	休診	休診

## ● 外来休診日…

土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、  
日本赤十字社創立記念日（5月1日）

● 受付時間… 予約のない方 ▶ 初診・再診 8:30～11:00

予約のある方 ▶

初診

8:30（初診受付開始）～予約時間の30分前

再診

7:50（再来機開始）～予約時間の20分前

※受付時間は診療科によって異なりますので、事前に診療科受付へお問い合わせください。また、初診の方は必ず「かかりつけ医からの紹介状」をお持ちください。

## ● 急病の場合…

曜日、時間に関係なく、救急外来で診察します。ご来院の前にお問い合わせください。

※診療状況によっては、診察をお断りする場合がありますので、当センターホームページをご確認ください。

## ● 診察カード…

全科共通でご使用できます。ご来院のときは必ずお持ちください。紛失・破損した場合は、初診受付にて再発行できます。

※再発行料：1枚 220円（税込）

## ● 健康保険証…

ご来院のときに確認していますのでお持ちください。

また、保険証の更新・変更時には必ず受診科受付にご提出ください。

## ● お薬手帳…

安全な医療を提供するために、「お薬手帳」などをお持ちください。必要に応じて確認させていただきます。

TEL  
(代表)

03-3400-1311

ホームページ  
のご案内

赤十字全般に関すること ▶

<https://www.jrc.or.jp>

日赤医療センターに関すること ▶

<https://www.med.jrc.or.jp>

日赤医療センターの  
ホームページはこちら ▶



※外来診療の再診スケジュールは、ホームページでご確認ください ※本誌のバックナンバーは、ホームページ上でPDF版をご覧いただけます